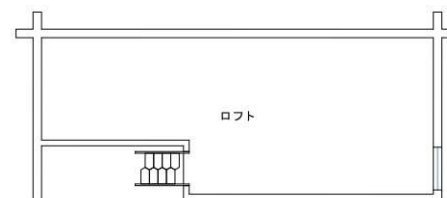
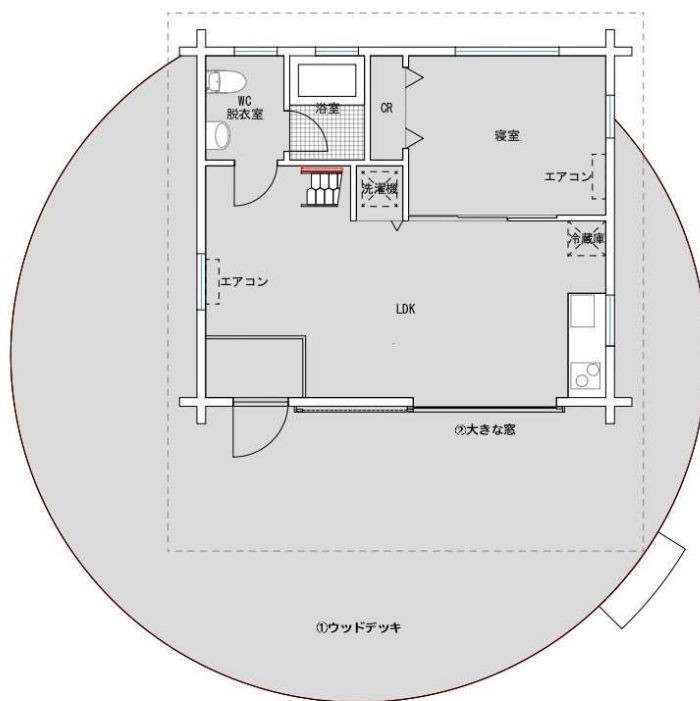


別添資料 1



設計意図：ベースとしてのログハウス

ログハウスはウッドデッキとつながり、ウッドデッキは周辺の自然とつながり、そして周辺の自然は海士町へとつながる。様々な境界をまたいで空間がつながるログハウスは、海士町の魅力を知り、そして発信するための基点となる。海士町へ観光に訪れる人、仕事で滞在する人、ここを訪れる人にとっての拠点であり、島の魅力を知るための基点 "base" となるように改修設計を行った。

(設計：MOUNT FUJI ARCHITECTS STUDIO)

① 周辺の自然が映り込むウッドデッキ

ログハウスを取り囲むウッドデッキには、海士町の豊かな自然が映り込む。季節の移ろいとともにもログハウスも変化し続け、訪れるたびに違う顔を見せる。また、大きな円形のウッドデッキは多彩な使われ方を許容するキャンバスとして、ここで過ごす時間を豊かなものに変える。

② ログハウスと自然をつなげる大きな窓

開口いっぱい大きな窓を設けることで、リビングにいてもまるで外にいるような空間体験ができる設計とした。この窓は大きく開放することで、ウッドデッキとリビングを一体的に利用でき、様々な使われ方が期待される。